

## パブリックコメントの結果等について

## 1 パブリックコメントの意見（市民）

発言者	要旨	対応案
<b>H28. 03. 07</b>		
40代 女性	<p>近隣の我孫子市の環境基本計画では、手賀沼をよみがえらせるという目標を中心とし、個人・企業ともに環境への加害者となることを自覚して行動していくための具体的な数値が明記されている。柏市では広域で多様な環境を保有するため対応が幅広く求められることとなるが、個人や企業が化学物質を削減していくための具体的な方向がより示されている方針を望みます。また、大津川沿いに関しては、手賀沼に流れ込む川として整備が進められていると思うが、高柳から大津ヶ丘、名戸ヶ谷周辺の川岸はうっそうとしていて川の流れもよどんで見える。自然な形で護岸を整え、安全に人が行き来しふるさとの美しい川と誇れるような計画を盛り込んでほしい。</p>	<p><b>【修正なし】</b></p> <p>本計画は、本市の環境政策の理念や基本方針を示し、環境部門の個別計画と共有し、かつ他部門の関連する計画との連携を図るものになっています。そのような位置づけを基に、本計画の目標や方針、施策の方向性を定めています。</p> <p>その中で、化学物質については河川等の継続的な監視に努め、基準値との比較を行いながら対応します。</p> <p>大津川の改修については、関係部署や関係機関と調整しながら、多自然型の整備を進めているところです。今後も、この取組を継続してまいります。</p>

## 2 パブリックコメント後の修正

要旨	対応案
目次	<b>【修正】</b>
第1章 1 計画策定の背景と目的	「と目的」を削除
p. 2 柏市産業振興戦略プラン 柏市産業振興戦略プラン（平成23年度～平成27年度）	<b>【削除】</b> 平成27年度で終了する計画で今後も作成する予定がない
P. 4 枠の中の説明 市民 ・日常生活において、PDCAサイクルの考え方を取り入れ、環境家計簿等により、着実に行動を改善していきます。 ・町会やボランティア等に参加します。 ・緑や水辺に親しみ、自然について学びます。	<b>【修正】</b> 簡条書きへ 市民 ・日常生活に伴う環境への負荷の低減 （PDCAサイクルを用いて実施・進捗管理） ・市が実施する環境施策への協力 ・地域における環境保全活動への積極的な参加

<p>P. 4 枠の中の説明</p> <p>事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業活動において、法令等を遵守し、PDCA サイクルの考え方を取り入れ、環境マネジメントシステム等により、着実に環境負荷を減らしていきます。</li> <li>・自然や景観の保全、活用に配慮、協力します。</li> <li>・地域や市、市民の取組に、協力、参加します。</li> </ul>	<p>【修正】</p> <p>事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業活動に伴う環境への負荷の低減 (PDCA サイクル、環境マネジメントシステム等を用いて実施・進捗管理)</li> <li>・市が実施する環境施策への協力</li> <li>・地域における環境保全活動への積極的な参加</li> </ul>
<p>P. 4 枠の中の説明</p> <p>市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民・事業者の参加，市民・事業者との連携，情報の提供・共有を進めます。</li> <li>・庁内での情報共有，横断的な連携を進め，自然や景観の保全，活用に配慮します。</li> <li>・広域的な取組について，関係団体等との協力の下，実施します。</li> <li>・柏市環境管理システム（KEMS）を用いて環境に係る施策の進捗管理を行います。</li> </ul>	<p>【修正】</p> <p>市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に掲げる施策を計画的・総合的に実施 (柏市環境管理システム（KEMS）を用いて実施・進捗管理)</li> <li>・環境に関する情報の収集・提供・共有</li> <li>・市民・事業者が行う環境保全活動を支援</li> <li>・市域を超える広域的な取組は国等と協力の下，実施</li> </ul>
<p>p. 6 ④気候</p> <p>◆気象の推移</p> <p>平成 21, 22 年の天候（晴曇雨雪）の合計が 365 日になっていないのはなぜか？</p>	<p>【修正】</p> <p>天候に不明な日があるため，合計が 365 日にならない年があるとのこと。 ⇒合計が 365 日にならない平成 21, 22 年については，表から削除する。</p>
<p>p. 16</p> <p>◆農地面積と農業従事者平均年齢の推移</p> <p>凡例が正しいか今一度確認をお願いしたい。（田の面積が少なすぎる）</p>	<p>【修正】</p> <p>柏市都市農業活性化計画を確認したところ，凡例の【果樹】と【田】が入れ替わって表記されていたため，修正する。</p>
<p>p. 18 (2)生活環境分野</p> <p>◆光化学スモッグ注意報等の年度別発令状況</p> <p>表の下に（注）（ ）内は警報の発令数と但し書きがあるが表中に該当なし。 表と図に同じデータを示しているが、どちらかひとつだけで十分ではないか</p>	<p>【修正】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表と図を統合し，一つの図として表記する。</li> <li>・グラフの上端に発令日数を追記する。</li> <li>・注釈「（ ）内は警報の発令数」は，該当するものがないため削除する。</li> <li>・警報の発令数がないので，図の件数は注意報のみの件数となるため，図タイトルの「等」を削除</li> </ul>
<p>p. 35 トピックスの文章</p> <p>このように，～維持されていると言えます。</p>	<p>【修正】</p> <p>「言えます」を「いえます」に修正</p>

p. 51 パブリックコメントの開催期間 ～3月12日	【修正】 ～3月11日
p. 51 平成27年度第6回柏市環境審議会の開催日 下旬予定	【修正】 3月24日
p. 51 平成27年度第6回柏市環境審議会の内容 柏市環境基本計画改定の最終案について（答申）	【修正】 柏市環境基本計画の改定原案について（答申）

### 3 審議会委員からの意見について（パブリックコメント後）

発言者	要旨	対応案
<b>H28.03.22</b>		
川瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史・文化」を理解したうえで歴史的資源・文化的資源を自然環境資源としてとらえて、柏市の特徴として生かしていくことが重要。</li> <li>・自然環境資源が豊かな柏市から私たちが受ける生態系サービス（文化的サービス）は将来にわたり私たちの誇りとなり、それらの基礎となる自然環境保全についても理解のある気持ちが育っていくことが必要。</li> </ul>	<p>【修正なし】</p> <p>谷津田の歴史等については35ページのトピックス「柏市の自然と農業」に掲載しています。委員ご指摘のとおり、貝塚や古墳、鳥ビシヤなどの郷土芸能等、歴史文化的資源も環境資源と捉えた事業の推進や情報発信に努めてまいります。</p>
川瀬委員 （自然観察 指導員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近のこどもは自然の中で遊ぶ機会が減少している。また、身近な遊び場所も自然豊かな場所が失われつつある。</li> <li>・こどものころの自然体験は、①五感の刺激②好奇心の芽生え③感受性の発達④想像力・創造性の形成⑤自然の生きものの繋がりを知るなど、心の成長や表現力、コミュニケーション能力を高める基となる。</li> <li>・自然の中に身を置き自然を観察することで、答えの導き方、他人への思いやりの能力などを体感的に獲得することができる。</li> <li>・今、一番こどもたちにとって必要とされていることは身近な自然の中にあるが、現在の義務教育ではこのような自由度の高い学習内容の時間をとることが難しく、また保護者の理解を得るのも難しくなっている。</li> <li>・先生の負担が大きくなるよう、外部の団体に指導を依頼し、環</li> </ul>	<p>【修正なし】</p> <p>ご指摘の点を踏まえ、重点事業である環境学習の推進にあたっては、関係課と協議しながら実施してまいります。</p>

	境教育のモデル校をつくって野外の自然観察を授業に取り入れることを検討したらどうか。	
--	---	--